

すみだ北斎美術館指定管理者応募事業者概要

事業者名	墨田区文化振興財団・丹青社共同企業体
1 利用者サービスの向上	<p>(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか</p> <p>・「公平・平等・公正な運営」を共同事業体としての基本姿勢として位置付けている。 ・来館者サービスの向上のため、アンケート等を活用し、運営を適宜改善するほか、来館者の視点に立って平等・公平で「おもてなしの心」に基づいたサービスを提供することとしている。</p>
	<p>(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか</p> <p>・浮世絵の適切な保存環境を実現するため、収蔵庫内の環境測定を継続的に実施し、地震・火災等の安全対策を行う。 ・収蔵資料はデータベースに記録し情報システムで管理するとともに、年1回の棚卸しを実施し、在庫と保管状況を確認する。 ・常時オリジナル作品を鑑賞できる環境を実現するため、特別展開催時を除き、通年で常設展プラスを開催する。 ・展覧会の実施計画では、収蔵作品による企画展のほか、様々なテーマによる企画、コラボ企画により、来館者満足度の高い展示を行っていく。 ・美術館のあらゆる活動の基盤となる調査研究活動については、学芸員がその専門能力を活かして積極的に調査研究を推進・継続し、その成果を研究紀要等で還元していく。 ・教育普及活動では、講演会、スライドトーク、ワークショップなど多彩な一般向けプログラムを実施するほか、外国人観光客を対象としたプログラムも実施していく。引き続き、区内の小中学校に対しては、学校支援ネットワーク事業と連携し、学校出前講座を実施する。 ・北斎の知名度・注目を活かして、多様なメディアへの情報発信を行うとともに、割引入館サービス「ぐるっとパス」をはじめ美術館・博物館等との相互割引を実施する。また、外国人観光客の来館が増えていることから、インバウンド向け情報発信も強化していく。 ・プレス・メディア関係者、近隣施設等とのネットワークを拡大しつつ、リピーターの獲得に向けた情報発信を行っていく。さらに、Twitter、Facebook等のSNSを活用するとともに、外部口コミサイトを活用し、国内のみならず外国人観光客に向けた広報を実施していく。</p>
	<p>(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、文化財公開承認施設に係る承認基準に沿った運営計画、展示計画が示されているか</p> <p>・公開承認施設の承認に向けた取り組みとして、重要文化財を含んだ展覧会を実施すべく、借入交渉を継続していく。また、施設の環境面においても、展示環境等の詳細な調査を行うとともに、必要な対策を講じる。 ・来館者からの要望の多い飲食の提供については、休日を中心に施設内のスペースにキッチンカーを配置するなど、施設の有効活用を図っていく。 ・区内事業者が開発した北斎関連商品を一堂に集めて展示・販売するイベントを定期的開催し、「すみだ」のものづくり産業の企画力と技術力を来館者にアピールする新しい企画を実施する。</p>
	<p>(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか</p> <p>・施設内でアンケートを実施しているほか、日々来館者から寄せられる質問・問合せ、ご意見・ご要望を取りまとめ、ニーズを把握している。 ・緊急度、対応優先度が高いご意見・ご要望については、館内で迅速に情報共有を行い、対応方針を協議し速やかに対応する。</p>
2 効率的・効果的な施設の運営	<p>(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか</p> <p>・地域活性化への寄与として、区内美術館・博物館との相互割引や施設連携のほか、北斎に関する観光プログラムの充実を目指し、旅行代理店と連携した区内周遊ツアーの企画や修学旅行・課外学習の誘致を積極的に行っていく。 ・ミュージアムショップについては、引き続き区内事業者と連携し、商品展開していく。</p>
	<p>(2) 施設の維持管理経費を削減するための積極的な取組があるか</p> <p>・予防的な措置や小規模修繕を実施することにより、維持管理コストの縮減につなげる。 また、外部企業、団体からの協賛、公的補助金、助成金の獲得を目指していく。</p>
	<p>(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか</p> <p>・指定管理料 162,000,000円</p>
	<p>(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか</p> <p>・委託業務は、業務の質や費用対効果、これまでの運用実績により培ってきた経験・ノウハウを考慮し、可能なかぎり区内に本社・事業所がある事業者への発注に努める。 ・消耗品などについても、経済性を考慮しながら、可能なかぎり区内業者から調達する。</p>
	<p>(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か</p> <p>・割引入館サービス「ぐるっとパス」、周辺施設（江戸東京博物館、すみだ水族館等）との提携割引を継続するとともに、インバウンド来館者割引等を検討し、来館者数の増加を図っていく。</p>
3 事業計画の遂行能力	<p>(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか</p> <p>公益財団法人 墨田区文化振興財団（代表団体） ・自己資本比率 H30 72.2% ・経常損益 H30 62,795千円 株式会社 丹青社（構成団体） ・自己資本比率 H30 60.8% ・経常損益 H30 5,219,109千円</p>
	<p>(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か</p> <p>常勤・非常勤（計16名） ・館長、ゼネラルマネージャー、サブマネージャー、職員13名 ・パート（2名）</p>
	<p>(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か</p> <p>・館長は、美術・芸術分野に造詣が深いことはもとより、地域等における幅広い人的ネットワークを形成することができ、当館の「顔」として好感を持たれ、情報発信力がある人材を配置する。 ・ゼネラルマネージャーは経営的な能力を有し、収入と支出の最適化のためのマネジメントを行う。 ・長年にわたる北斎を主とした浮世絵の調査研究等を行い、開館以来の実務経験も有する学芸員及び司書を配置する。 ・OJTと各種研修参加等による継続的な人材育成で安定的な施設運営を行っていく。</p>
	<p>(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか</p> <p>・個人情報の保護と適正かつ円滑な事業運営の確保に努め、必要な研修を行っていく。</p>
	<p>(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か</p> <p>・「すみだ北斎美術館危機管理マニュアル」に基づき、定期的に訓練等を実施し、継続的に危機管理対応を更新し、安全管理を行っていく。 ・苦情処理については、対応フローを策定し対応にあたることとしている。</p>
	<p>(6) 同種事業に関する実績はあるか</p> <p>・文京区立森鷗外記念館（指定管理者 2012年11月～2022年3月） ・中野区立歴史民俗資料館（運営委託 2011年4月～2020年3月31日 年度毎の契約） ・海上自衛隊呉史料館 P F I 事業（1期2007年4月～7年間、2期2014年4月～7年間） ・島根県立古代出雲歴史博物館（指定管理者 2006年4月～2016年3月） ・横浜人形の家（指定管理者 2016年4月1日～2021年3月31日）</p>